

令和元年度 文京学院大学文京幼稚園 学校関係者評価委員会（ご意見のまとめ）

令和2年7月30日

令和元年度は、年度末から都内に新型コロナウイルスの感染者が増え始めたため、3月に予定していた学校関係者評価委員会を中止させていただきました。令和2年度も6月に委員会を開く予定でしたが、さらなる都内の感染者増大の状況を鑑みて今回も会は中止しました。学校関係者評価委員8名の皆様には、それぞれ「保護者アンケート結果」「教員自己評価結果」など資料を郵送し、書面で評価を頂戴しました。委員皆様からのご意見の抜粋を項目ごと、以下に掲載させていただきます。ご意見は真摯に受け止め、園運営が改善できるよう努めます。

評価項目	評 価（本園の行った自己評価に対するご意見・ご感想）
重点目標 1 1－① 1－② 1－③	<ul style="list-style-type: none"> ●人との関わりの中で大切なことだが、最近は当たり前ではなく、日々気を付けて（園で）伝えていかななくてはならないことだと感じている。 ●挨拶は基本と言うが、人とか関わりたい気持ちを含めて、教員がその気持ちを理解し、導いている様子が伺える。・・・（関わりで嬉しいこと）状況は刻々と変わり、捉えるのが難しい。嬉しかった思いは大切にしたい。 ●プロ意識の高い教員からは厳しい自己評価が出ているが、実際には大きな成果が出ていると思う。評価の照準設定を今後検討して頂ければ良いと考える。 ●登園時に先生方が玄関で子どもたちを迎えている姿を見るが、大人の姿を見て、子どもたちはまねをする（学んでいる）のだと思う。
重点目標 2 2－① 2－② 2－③	<ul style="list-style-type: none"> ●遊びの展開を意識した環境づくりは、自己評価の通り素晴らしかったのではないかと自ら意見を発表する子だけでなく、したがる子や周囲に流されるだけで自ら考えることを休んでしまう子からも、考えを引き出せるよう、今後も教員がうまく誘導されると良いと考える。 ●アンケート結果から、保護者が自然体験の良さを十分に認めていることが分かる。また、教員が自信をもってA評価を付けているのは、栽培活動を通して、子どもたちの資質能力を育む「主体的・対話的で深い学び」を3学年の発達に合わせて見ることが出来ているのではないかと。 ●子どもの興味の発達が思考力に繋がり、園生活の楽しさのもとになる。良い園だと思った。色々な考え方に気付かせるには、教員の柔らかさが大事である。
教員自己評価結果 1 保育内容の工夫 2 環境構成の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●都心に在りながら園庭も広く、畑もあり、園児たちが自然を感じられる。またトイレ等園内施設の改修も進み、園児にとって素晴らしい保育環境だと思う。 ●幼児を取り巻く環境の一つとして、「虫の存在」は重要である。今は家庭でも生き物に触れる機会が少ないと思われるため、幼稚園での体験は貴重なものとなる。 ●子どもの個性を大切にしながら思いやりの心を育み、和を学んでいく、園の仁愛の精神に則っていると思う。教員同士の情報共有がなされ、全員で園児一人ひとりを温かく見守ってくださっている様子が伝わってきた。 ●環境によって、子どもが経験すること、そこから学ぶことが左右されると思う。季節に応じて、構成されている点は素晴らしいと思う。
教員自己評価結果 3 幼児への対応 4 保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者にとって、我が子の良いところや親の知らない集団生活での姿を教員から教えてもらえることは、非常に嬉しいこと。我が子を見つめ直し認めることは、保護者も幸せであるし、さらに接する子どもに幸せが広がって行くと思う。些細なことでも良いので頑張っていてほしい。 ●子ども一人ひとりを大切にできる態度や姿勢は、子どもにも伝わる。教員同士の連携もとても大事で子どもにも分かるものである。 ●学年の教員連携や情報交換の充実が確かな幼児理解に結びついているのだと改めて思った。きめ細やかな対応ぶりは、保護者アンケート自由記述欄からも読み取れた。 ●各行事で、保護者の手伝いや父親達が参加しての準備・片付け・交通整理等良くやっており、効果が上がっていると思う。
教員自己評価結果 5 研修と研究 6 安全管理 7 職場環境 学年チームの 関わり	<ul style="list-style-type: none"> ●教員が研修会に参加できるのは幸せなこと。園全体の考えを確認するためにも園内研究は必要である。教員が集まることが楽しければ大丈夫。 ●教員の資質向上、安全点検の励行、より良い職場環境作りに今後も継続して取り組んで欲しい。 ●教員が研修で学んだことの概要だけでも掲示板等に発表すると、保護者にも園の懸命な姿勢がさらに伝わると思う。 ●子ども自身が危険と安全を意識できるよう考える場を設けたことは、素晴らしいと思う。子ども同士で注意しあうことや、自分の身だけでなく友達の手も守ることに繋がると思う。 ●子どもが危険かどうかを判断できる力を育てることも大切。保護者が求める安全と、保育の中の教育的配慮のずれもあると思うので、難しいが。 ●教員が家で休む時間は、翌日の心の余裕にもつながるため、意識して大事にしていきたい。